

まちづくりについての意識調査
【中学生】
報告書

平成30年10月

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査方法と回収結果	1
3. 調査項目	1
4. 集計方法及び結果の表示方法	1
第2章 回答者の属性	3
1. 学年と男女	3
2. 居住地区	4
3. 居住歴	6
第3章 川辺町に対する評価	7
1. 川辺町が好きか	7
2. 町の良い点・好きな点	8
3. 町の悪い点・嫌いな点	10
4. まちの良い点・好きな点と悪い点・嫌いな点のまとめ	11
5. 町で誇れるもの、大切にしたいもの	12
第4章 川辺町と中学生自信の将来について	15
1. 希望する町の将来像	15
2. 力を入れるべき分野	18
3. まちづくりへの関心	20
4. 中学卒業後の進路	21
5. 定住意向	22
第5章 近所のことやボランティアについて	24
1. 近隣とのつきあい程度	24
2. ボランティア活動の経験	26
第6章 自由記入意見	28

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

第5次総合計画後期基本計画の策定に際して、次代を担う中学生を対象として、川辺町についての評価や、中学生の生活意識を把握するとともに、川辺町の将来方向についての意見を得ます。

これにより、後期基本計画で目指すまちづくりの方向性や、若者の定住を図る魅力があるまちづくりのための施策を検討するための参考材料とします。

2. 調査方法と回収結果

(1) 調査対象

川辺中学校の生徒全員を対象としました。

(2) 調査方法

川辺中学校に依頼して、調査票の配布・生徒への記入・回収を行いました。

(3) 調査期間

2018年（平成30年）7月

(4) 回収結果

有効配布数※	有効回答数	有効回答率
259人	252人	97.3%

※川辺中学校の生徒数

3. 調査項目

- ①回答者のプロフィール..... 4問
- ②川辺町の良い点・悪い点などの評価..... 3問
- ③川辺町と自身の将来について..... 5問
- ④近所やボランティアについて..... 2問
- ⑤意見の自由筆記

4. 集計方法及び結果の表示方法

(1) 集計方法

クロス集計は、1～3年の学年別、男女別、北部・西部・東部の3地区にまとめた地区別集計を基本として分析しています。また、計画策定時の2011年（平成23年）10月に実施したアンケート調査結果と同じ設問については、当時と比較分析しています。

(2) 留意点

- ① 図中の構成比 (%) は、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計は必ずしも 100.0%にはなりません。
- ② 複数回答の場合の構成比 (%) は回答者数を母数としており、合計は 100%を超えます。
- ③ 選択肢についての文中の記述は調査票の記述をそのまま用いていますが、図表中については略している場合があります。
- ④ 二重回答は乱数表を用いて回答を決定しています。また、判読不能の回答、回答がない場合は不明に含めています。
- ⑤ 一部の図表においては、「不明」は省略してあります。また、設問・選択肢などの表現は意味が変わらない程度に一部省略してある場合があります。

第2章 回答者の属性

1. 学年と男女

問1 あなたの学年と性別は。【○を1つだけ】

(1) 学年及び男女別

○学年及び男子・女子生徒別（以下、男女別と標記）の回答者数は、1年生が30人台、2年生が40人台で、3年生が男子52人、女子41人となっています。

図表2-1 学年と男女別

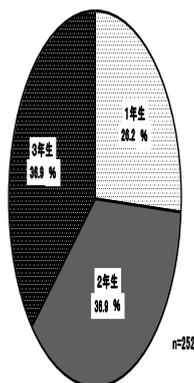
	合計	1年生 男子	1年生 女子	2年生 男子	2年生 女子	3年生 男子	3年生 女子	回答 なし
回答者数	252	30	36	45	48	52	41	0
%	100.0	11.9	14.3	17.9	19	20.6	16.3	0

(2) 学年と男女

① 学年別

○学年別では、2年生と3年生は93人（36.9%）ですが、1年生が66人（26.2%）と少なくなっています。

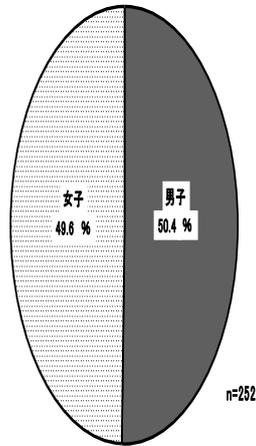
図表2-2 学年別



②男女別

○男子が 50.4%で、女子より若干多くなっています。

図表2-3 男女別



2. 居住地区

問2 あなたは、どの地区にお住まいですか。【○を1つだけ】

(1) 地区別

○9つの地区別では、比久見地区が 56 人、次いで中川辺地区が 48 人と多くなっています。

○一方、鹿塩区、下飯田区では、5 人を切っています。

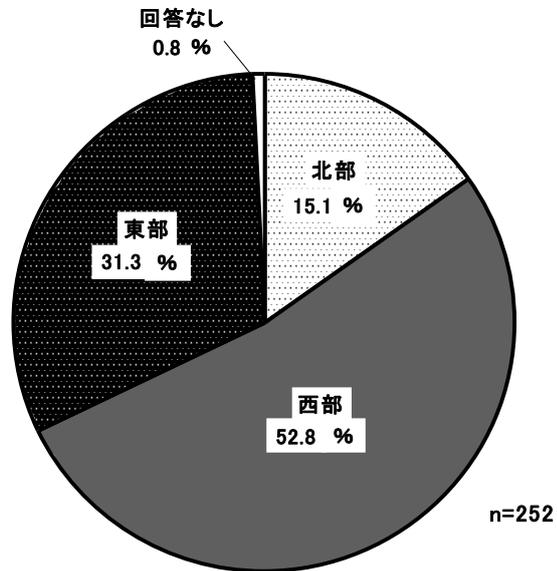
図表2-4 地区別

	合計	上川辺区	石神区	中川辺区	西栃井区	下川辺区	鹿塩区
回答者数	252	24	27	48	31	23	4
%	100.0	9.5	10.7	19.0	12.3	9.1	1.6
		下飯田区	福島区	比久見区	下吉田区	下麻生区	回答なし
		3	10	56	10	14	2
		1.2	4.0	22.2	4.0	5.6	0.8

(2) 3地区別

○ 3地区にまとめると、西部が52.8%と半数を超え、東部が31.3%、北部が15.1%となっています。

図表2-5 3地区



3. 居住歴

問3 あなたは、いつから川辺町に住んでいますか。【○を1つだけ】

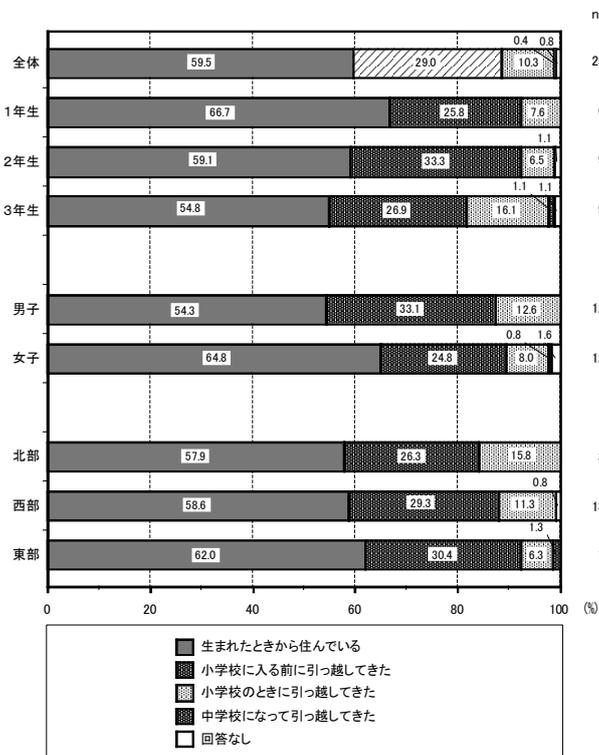
(1) 回答者全体

○「生まれたときから住んでいる」が59.5%、「小学校に入る前に引っ越してきた」が29.0%、「小学校のときに引っ越してきた」が10.3%となっています。

(2) 学年・男女・地区別

○「生まれたときから住んでいる」は下の学年ほど高くなっています。また、性別では女子、地区別では東部で「生まれたときから住んでいる」が高くなっています。
○2年生、男子で「小学校に入る前に引っ越してきた」が3分の1程度と高くなっています。

図表2-6 居住歴(学年・男女・地区別)



第3章 川辺町に対する評価

1. 川辺町が好きか

問4 あなたは川辺町が好きですか。【○を1つだけ】

(1) 回答者全体

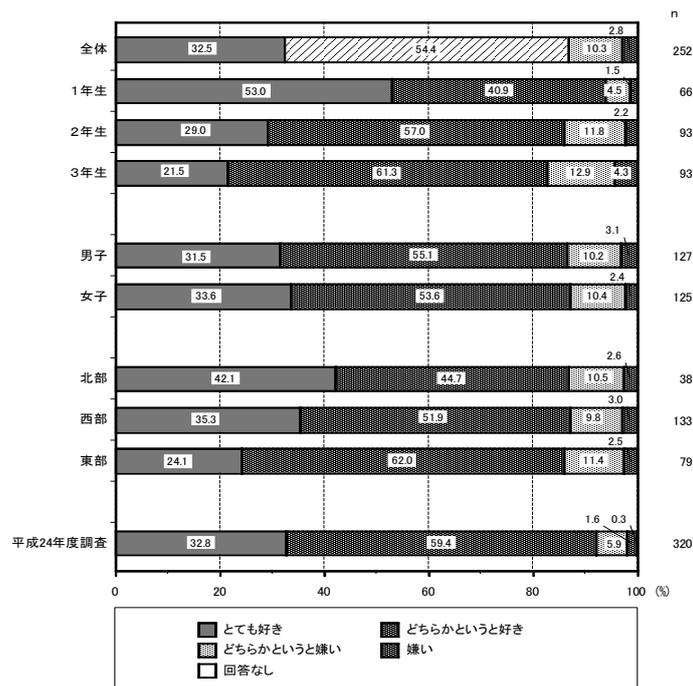
○「とても好き」が32.5%、「どちらかというが好き」が54.4%で、合わせて『好き』が90%弱となっています。

(2) 学年・男女・地区別・前回比較

○学年が上がるにつれて「とても好き」が低くなっています。北部では「とても好き」が42.1%と高く、東部では24.1%と低くなっており、大きな差があります。

○前回調査（平成24年度）と比べると、「とても好き」はほぼ同じ割合ですが、「どちらかというが好き」が5ポイント低くなり、愛着がやや低くなったと思われます。

図表3-1 川辺町が好きか(学年・男女・地区別、前回比較)



2. 町の良い点・好きな点

問5 川辺町の良い点・好きな点はどういうところと感じていますか。【○を3つまで】

(1) 回答者全体

○「川や山の自然が豊かなこと」が72.2%と圧倒的に多く、次いで「静かでのんびりしていること」が47.6%、「災害が少ないこと」が32.1%、「親切な人が多いこと」

と「交通事故や犯罪が少ないこと」が25%強となっています。自然や静かな環境、災害や交通事故・犯罪などが少ない安心感などが高く評価されています。

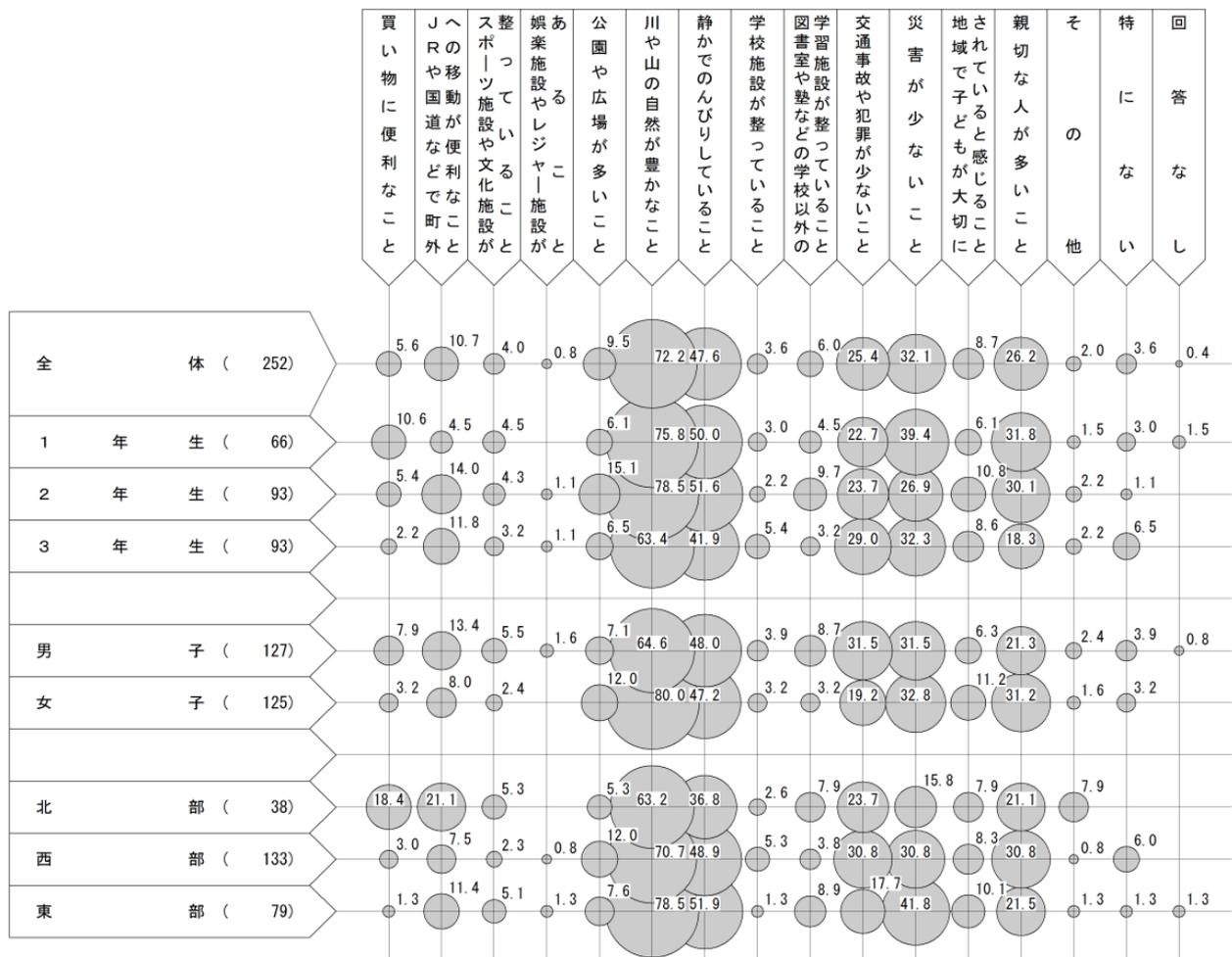
(2) 学年・男女・地区別

○1年生と2年生は「川や山の自然が豊かなこと」、「親切な人が多いこと」が3年生よりも高く、さらに1年生では「災害が少ないこと」など、2年生では「静かでのんびりしていること」などが学年の中で最も高くなっています。

○女子では「川や山の自然が豊かなこと」が特に高く、男子では「交通事故や犯罪が少ないこと」が女子よりも高くなっています。

○東部で「川や山の自然が豊かなこと」、「静かでのんびりしていること」、「災害が少ないこと」が、他地区より高いことなどが特徴です。

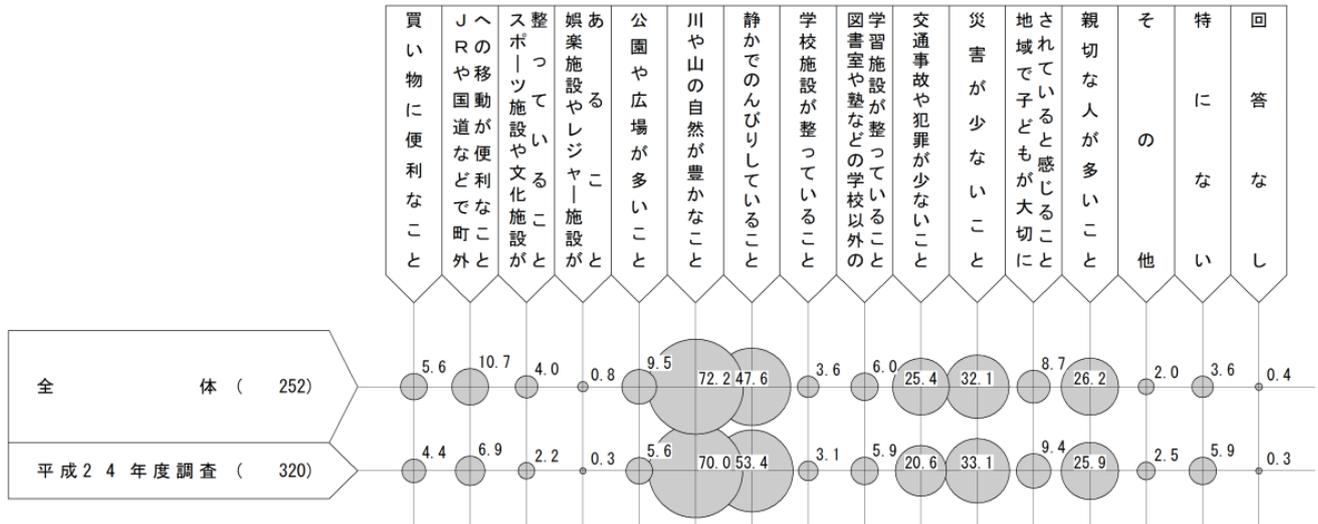
図表3-2 町の良い点・好きな点(学年・男女・地区別)



(3) 前回比較

○前回よりも「静かでのんびりしていること」が低くなり、「交通事故や犯罪が少ないこと」、「JRや国道など町外への移動が便利なこと」が高くなっています。

図表3-3 町の良い点・好きな点(前回比較)



3. 町の悪い点・嫌いな点

問6 川辺町の悪い点・嫌いな点はどういうところと感じていますか。【〇を3つまで】

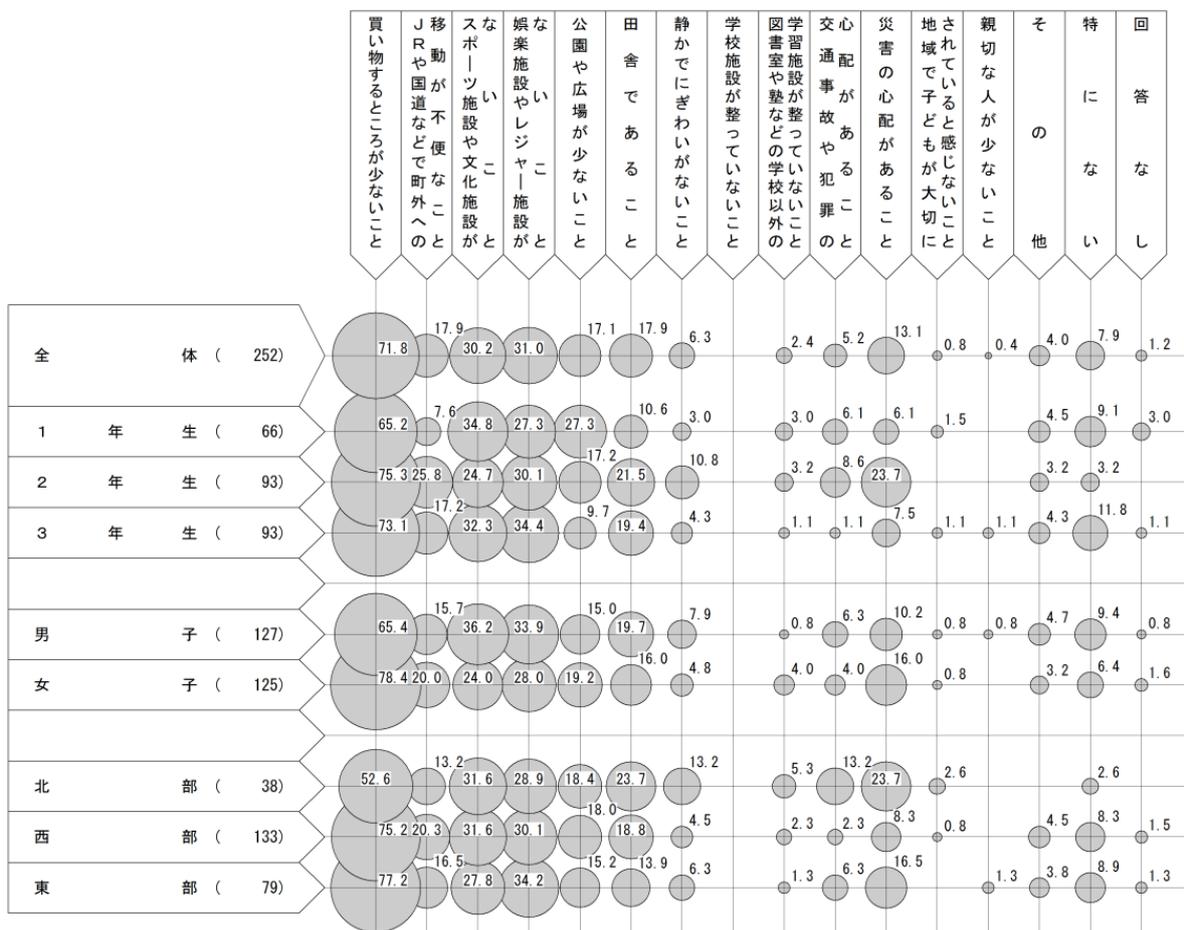
(1) 回答者全体

- 「買い物するところが少ないこと」が71.8%と圧倒的に高くなっています。
- 次いで「娯楽施設やレジャー施設がないこと」と「スポーツ施設や文化施設がないこと」が30%強、「JRや国道などで町外への移動が不便なこと」と「田舎であること」、「公園や広場が少ない」が17%強となっています。

(2) 学年・男女・地区別

- 2年生で「買い物するところが少ないこと」、「JRや国道などで町外への移動が不便なこと」、「災害の心配があること」などが他の学年よりも高くなっています。
- 女子で「買い物するところが少ないこと」が特に高く、男子で「スポーツ施設や文化施設がないこと」が女子よりも高くなっています。
- 西部と東部で「買い物するところが少ないこと」が、特に高くなっています。北部では「災害の心配があること」、「交通事故や犯罪の心配があること」などが他地区よりも高くなっています。

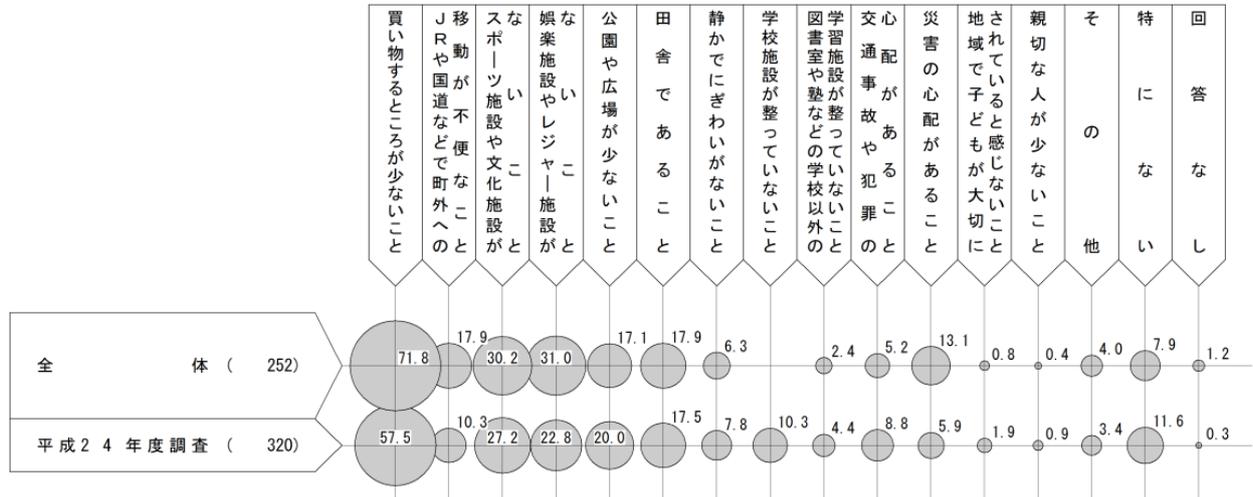
図表3-4 町の悪い点・嫌いな点(学年・男女・地区別)



(3) 前回比較

○「買い物するところが少ないこと」をはじめ、「娯楽施設やレジャー施設がないこと」、「災害の心配があること」などが、前回よりも大幅に高くなっています。

図表3-5 町の悪い点・嫌いな点(前回比較)



4. まちの良い点・好きな点と悪い点・嫌いな点のまとめ

○良い点・好きな点で、「川や山の自然が豊か」と「静かでのんびりしている」という農村的な雰囲気が評価されている一方で、悪い点・嫌いな点では「買い物するところが少ない」と「スポーツ施設や文化施設がない」、「娯楽施設やレジャー施設がない」、あるいは「田舎である」などというサービス機能が乏しいという意見が目立っています。

○さらに、前回調査よりも良い点・好きな点では「交通事故や犯罪が少ないこと」、「JRや国道など町外への移動が便利なこと」が高くなった一方、悪い点・嫌いな点では「買い物するところが少ないこと」、「娯楽施設やレジャー施設がないこと」、「災害の心配があること」などが大幅に高くなり、ほかの項目も高くなっていることが懸念材料です。

5. 町で誇れるもの、大切にしたいもの

問7 川辺町で誇れるものや大切にしたいものは何ですか。【〇を3つまで】

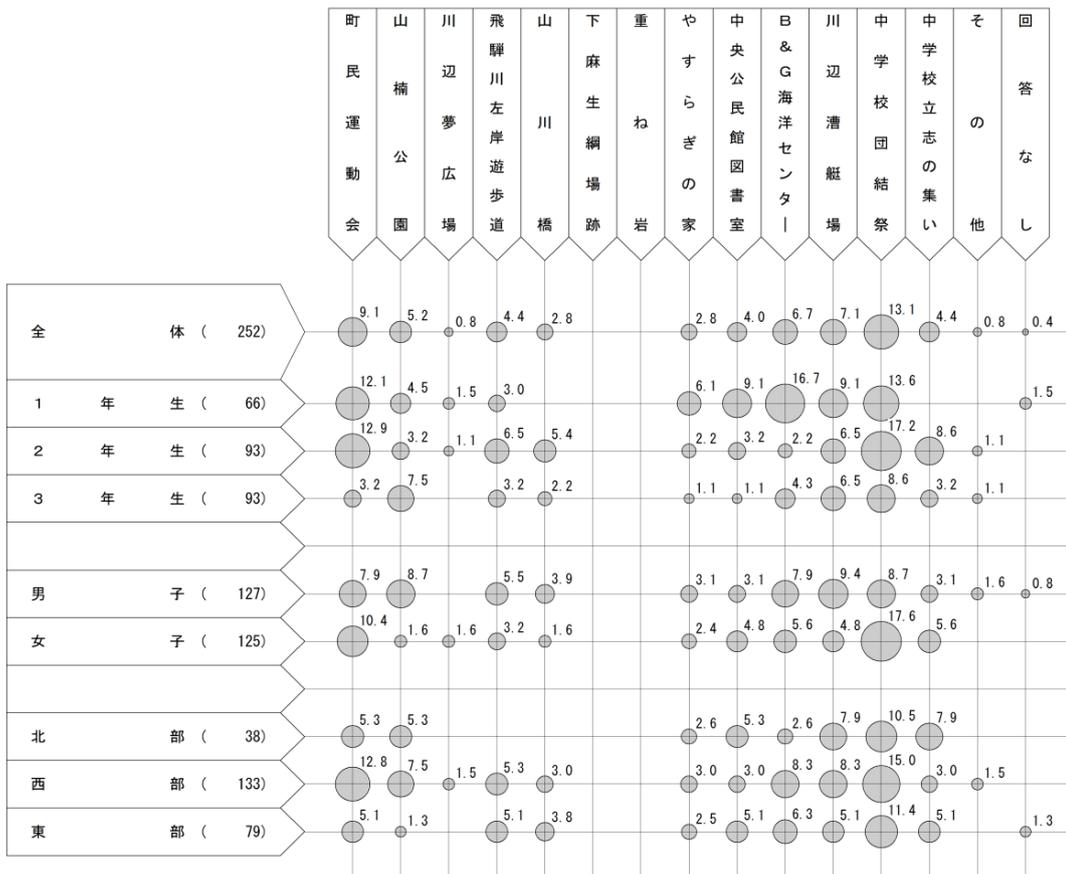
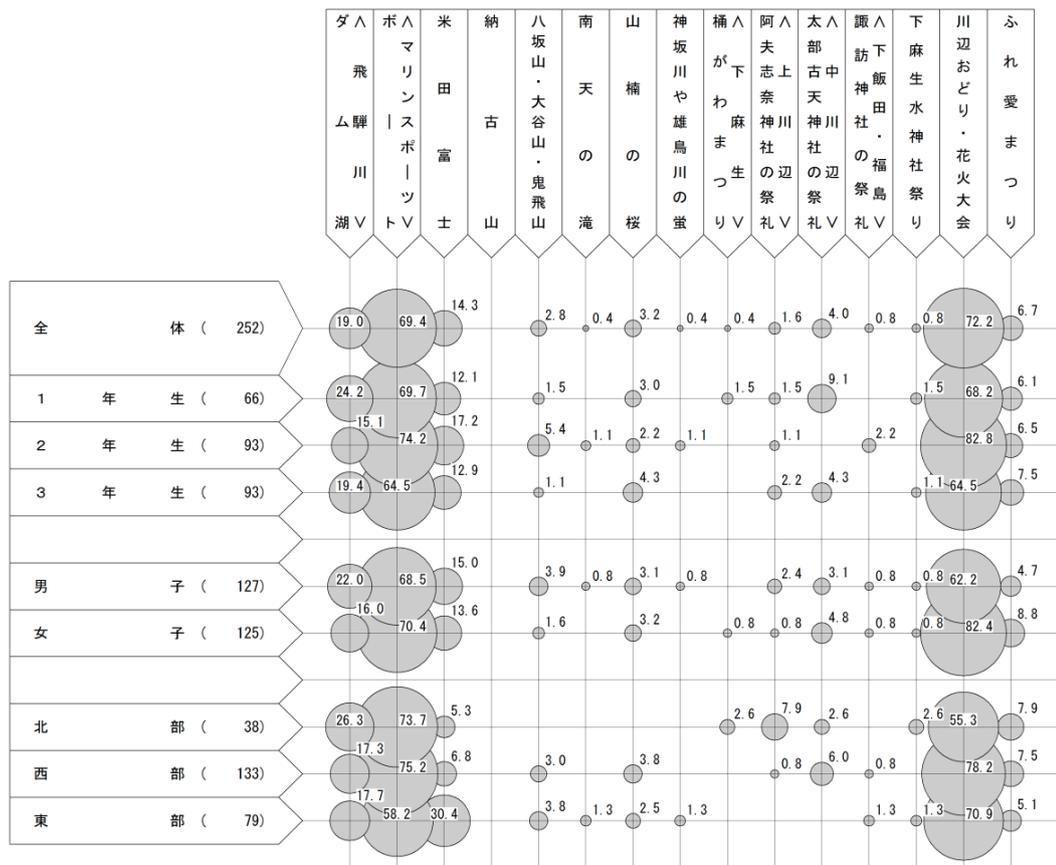
(1) 回答者全体

- 「川辺おどり・花火大会」が72.2%、「ボート（マリンスポーツ）」が69.4%で、この二つに大きく回答が集まっています。
- このほかでは、「ダム湖（飛驒川）」（19.0%）、「米田富士」（14.3%）、「中学校団結祭」（13.1%）が10%以上となっています。

(2) 学年・男女・地区別

- 2年生で「川辺おどり・花火大会」、「ボート（マリンスポーツ）」、「中学校団結祭」など、1年生で「B&G海洋センター」などが他の学年よりも高くなっています。
- 女子で「川辺おどり・花火大会」が圧倒的に高く、「中学校団結祭」などが男性よりも高くなっています。男子では「ダム湖（飛驒川）」、「山楠公園」などが女性よりも高くなっています。
- 西部で「川辺おどり・花火大会」、「ボート（マリンスポーツ）」が、特に高くなっています。

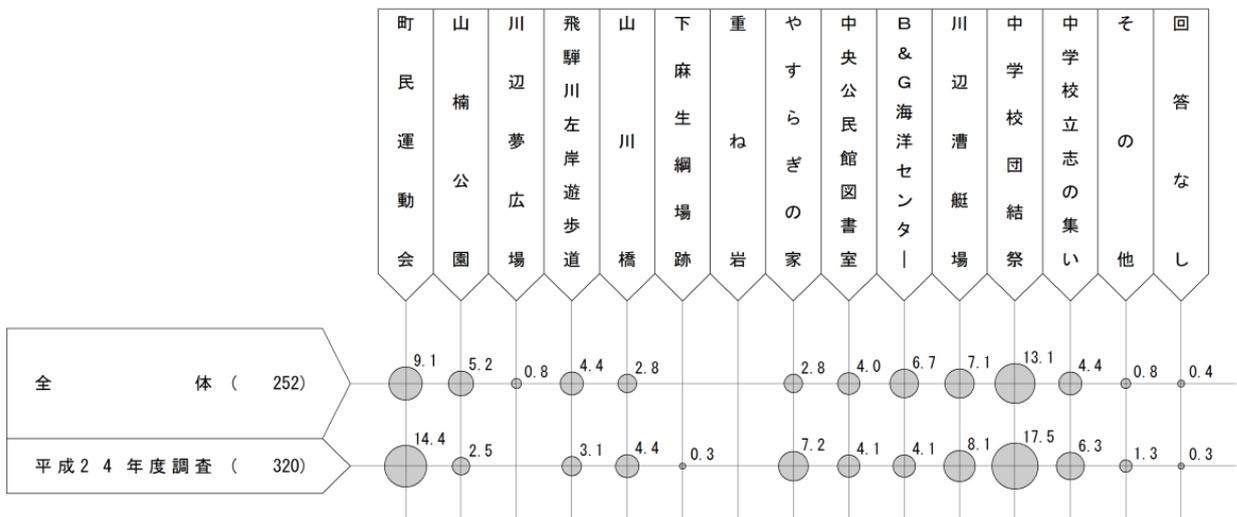
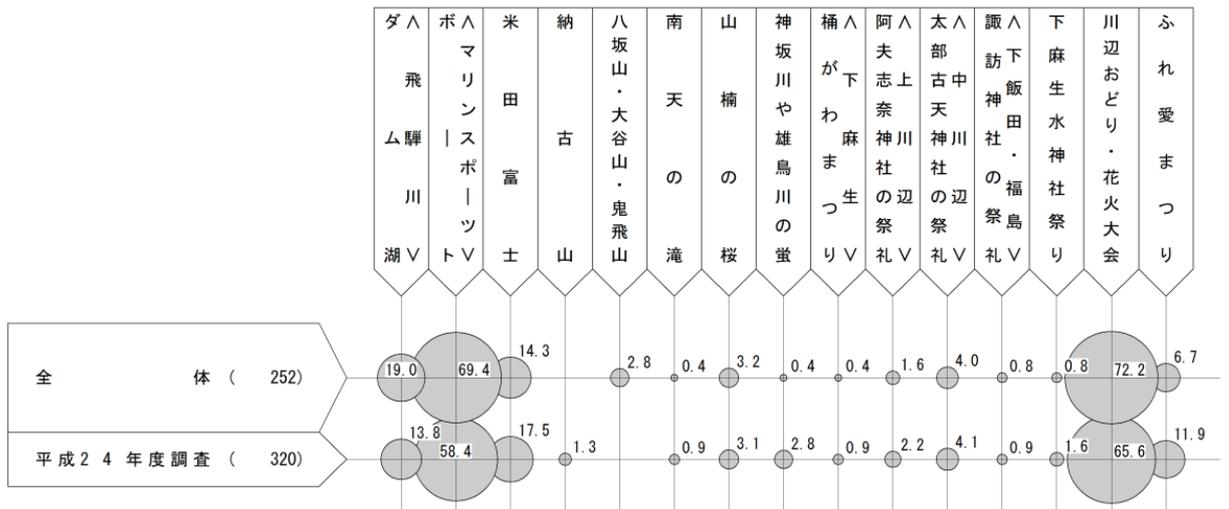
図表3-6 町で誇れるものや大切にしたいもの(学年・男女・地区別)



(3) 前回比較

○前回と比べて、「川辺おどり・花火大会」、「ボート（マリンスポーツ）」、「ダム湖（飛騨川）」が大幅に高くなっていることが特徴です。

図表3-7 町で誇れるものや大切にしたいもの（前回比較）



第4章 川辺町と中学生自身の将来について

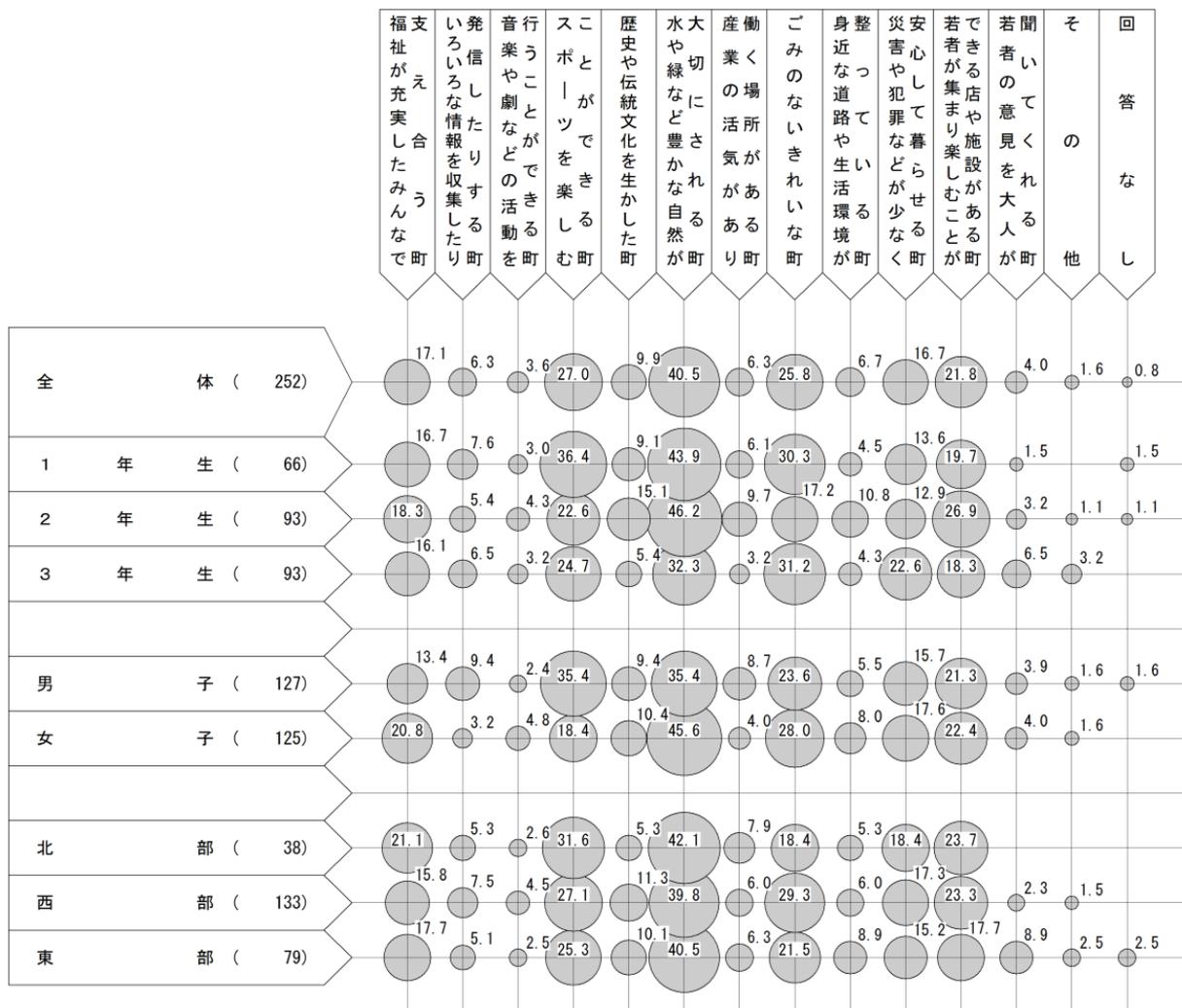
1. 希望する町の将来像

問8 川辺町は将来どのような町になってほしいと思いますか。【○を2つまで】

(1) 回答者全体

- 「水や緑など豊かな自然が大切にされる町」が40.5%で最も高く、次いで「スポーツを楽しむことができる町」(27.0%)、「ごみのないきれいな町」(25.8%)、「若者が集まり楽しむことができる店や施設がある町」(21.8%)となっています。
- 自然や清潔な環境、スポーツや若者向けの場、安心・安全な環境も求められています。

図表4-1 希望する町の将来像(学年・男女・地区別)



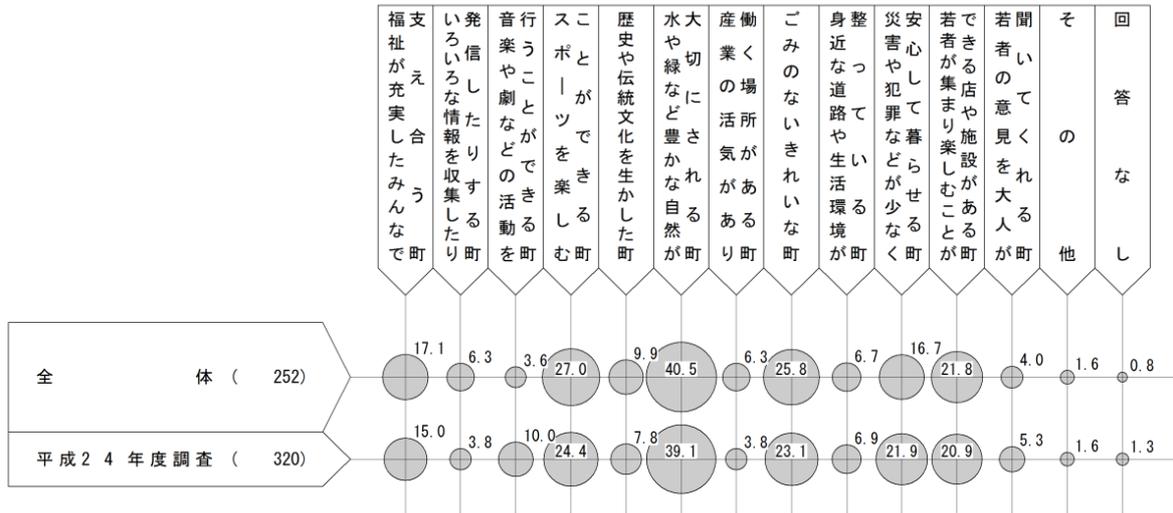
(2) 学年・男女・地区別

- 1年生と2年生で「水や緑など豊かな自然が大切にされる町」が特に高く、1年生では「スポーツを楽しむことができる町」など、2年生では「若者が集まり楽しむことができる店や施設がある町」などがほかの学年よりも高くなっています。3年生では「ごみのないきれいな町」と「災害や犯罪などが少なく安心して暮らせる町」が、ほかの学年よりも高くなっています。
- 女子で「水や緑など豊かな自然が大切にされる町」、「福祉が充実したみんなで支え合うまち」が男子よりも高く、男子で「スポーツを楽しむことができる町」が女子よりも高くなっています。
- 北部で「スポーツを楽しむことができる町」、「福祉が充実したみんなで支え合うまち」、西部で「ごみのないきれいな町」がほかの地区よりも高くなっています。

(3) 前回比較

○前回と比べて、「ごみのないきれいな町」が若干高くなり、「災害や犯罪などが少なく安心して暮らせる町」、「音楽や劇などの活動を行うことができる町」が低くなっています。

図表4-2 希望する町の将来像(前回比較)



2. 力を入れるべき分野

問9 どのような分野に力を入れるべきだと考えますか。【○を3つまで】

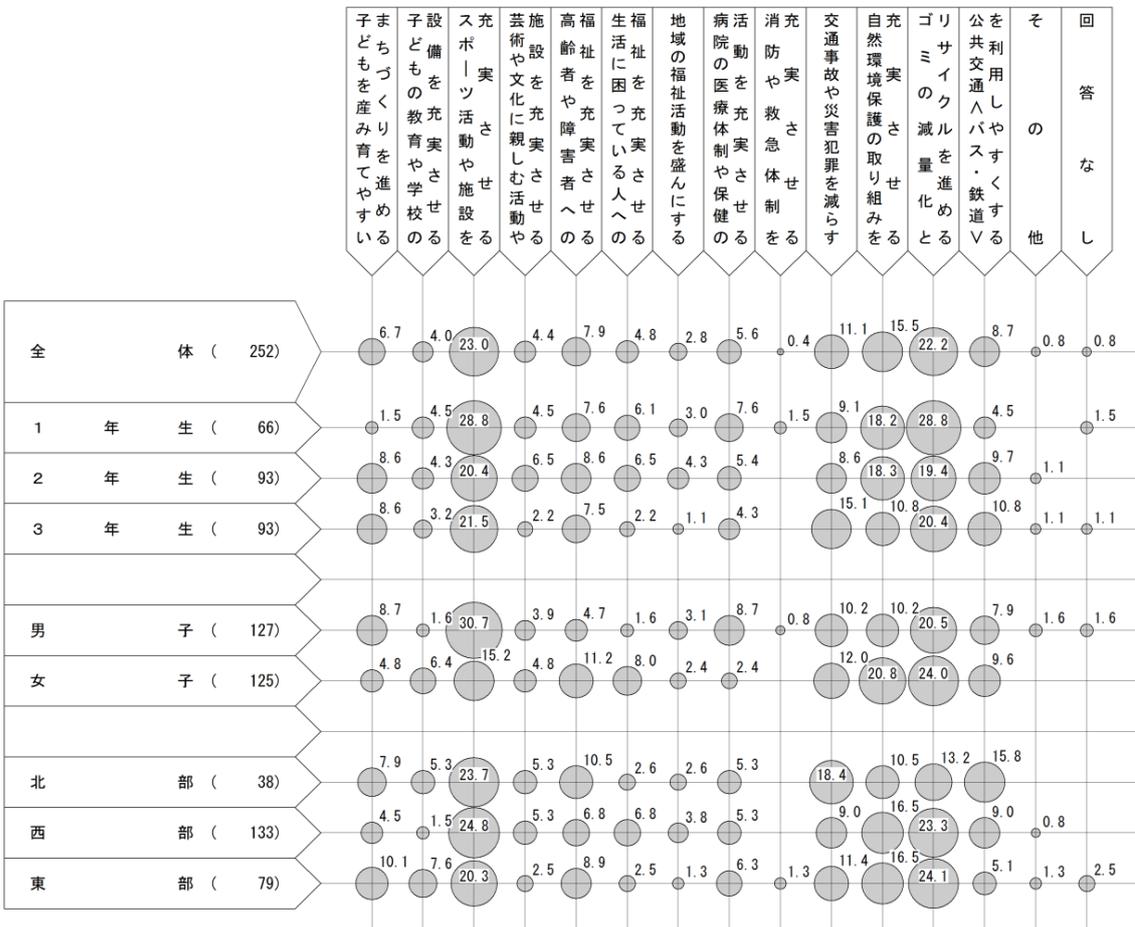
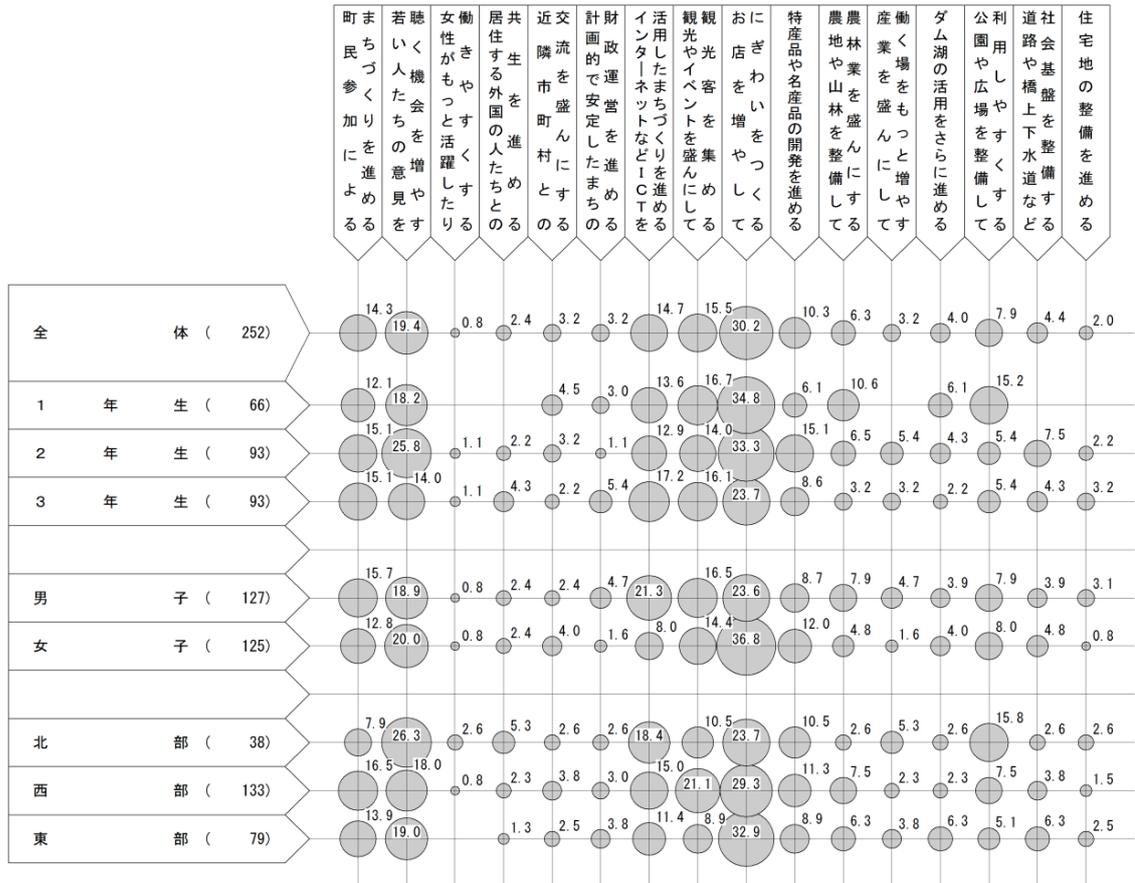
(1) 回答者全体

- 「お店を増やして、にぎわいをつくる」が30.2%と最も高く、次いで「スポーツ活動や施設を充実させる」(23.0%)、「ごみの減量化とリサイクルを進める」(22.2%)、「若い人たちの意見を聴く機会を増やす」が19.4%となっています。
- 「観光やイベントを盛んにして観光客を集める」と「自然環境保護の取り組みを充実させる」、「インターネットなどICTを活用したまちづくりを進める」、「町民参加によるまちづくりを進める」が15%前後見られます。にぎわいの創出や若者の意見を聞くことや参加が求められています。

(2) 学年・男女・地区別

- 1年生と2年生で「お店を増やして、にぎわいをつくる」が高くなっています。さらに1年生では「公園や広場を整備して利用しやすくする」、「スポーツ活動や施設を充実させる」、「ごみの減量化とリサイクルを進める」など、2年生では「若い人たちの意見を聴く機会を増やす」などが、ほかの学年よりも高くなっています。
- 男子では「インターネットなどICTを活用したまちづくりを進める」、「スポーツ活動や施設を充実させる」などが女子よりも高く、女子では「お店を増やして、にぎわいをつくる」、「自然環境保護の取り組みを充実させる」などが男子よりも高くなっています。
- 北部で「若い人たちの意見を聴く機会を増やす」、「インターネットなどICTを活用したまちづくりを進める」、「公園や広場を整備して利用しやすくする」、西部で「観光やイベントを盛んにして観光客を集める」が、ほかの地区よりも高くなっています。東部では、「子どもを産み、育てやすいまちづくりを進める」、「子どもの教育や学校の設備を充実させる」が、ほかの地区よりも高くなっています。

図表4-3 力を入れるべき分野(学年・男女・地区別)



3. まちづくりへの関心

問 10 まちづくり(町政)に関心がありますか。【○を1つだけ】

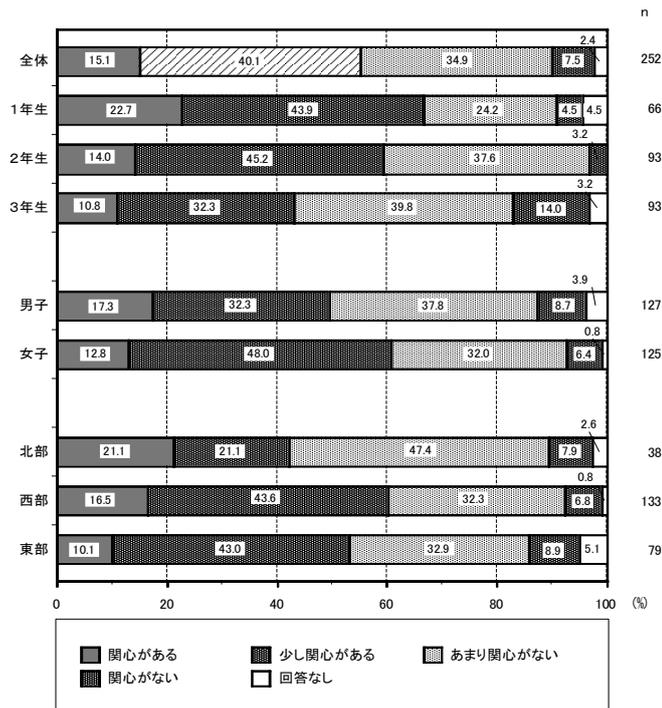
(1) 回答者全体

○「関心がある」が15.1%、「少し関心がある」が40.1%で、合わせて『関心がある』が約55%です。「あまり関心がない」が34.9%、「関心がない」が7.5%で、合わせて『関心がない』が約42%です。

(2) 学年・男女・地区別

- 1年生では『関心がある』が3分の2に達していますが、学年が上がるにつれて『関心がある』が低くなっています。
- 女性では『関心がある』が約61%ですが、男子では約40%と大きな差があります。
- 北部では「関心がある」が地区の中で最も高い一方、『関心がある』は約42%と最も高くなっています。西部では『関心がある』が約60%に達しています。

図表4-4 まちづくりへの関心(学年・男女・地区別)



4. 中学卒業後の進路

問 11 中学校卒業後の進路について、どのように考えていますか。【○を1つだけ】

(1) 回答者全体

○「大学まで進学したい」が36.1%と最も多く、「高校まで進学したい」が31.7%、「専門学校まで進学したい」が13.1%となっています。

○「まだわからない」が16.3%見られます。

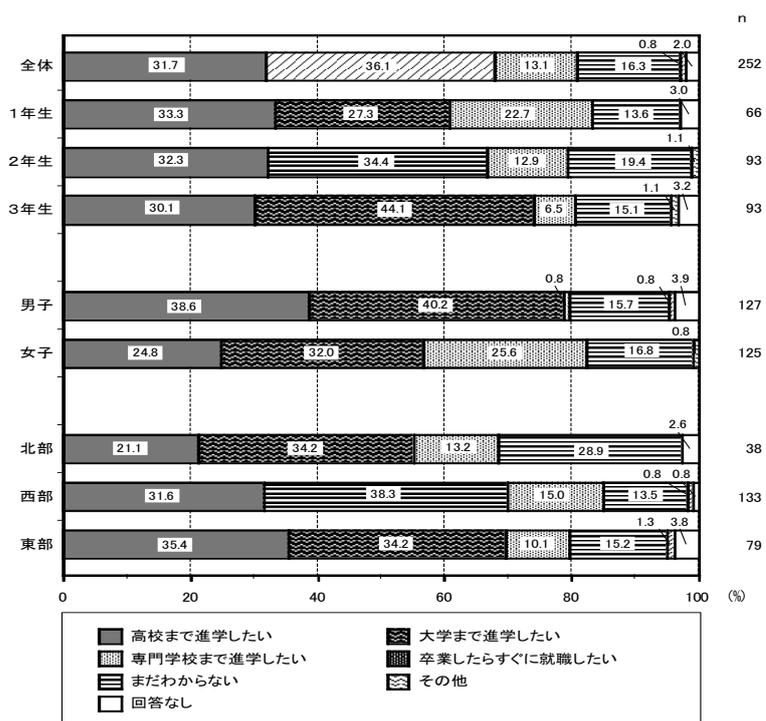
(2) 学年・男女・地区別

○学年が上がるにつれて「大学まで進学したい」が高くなっており、3年生では44.1%となっています。

○男子では「大学まで進学したい」、「高校まで進学したい」が高く、女子では「専門学校まで進学したい」が4分の1で、専門学校希望者の大半が女子です。

○東部で「高校まで進学したい」が、ほかの地区よりも高くなっています。

図表4-5 中学卒業後の進路(学年・男女・地区別)



5. 定住意向

問 12 大人になっても川辺町に住み続けたいと思いますか【○を1つだけ】

(1) 回答者全体

- 「住み続けたい」が 12.3%、「どちらかと言うと住み続けたい」が 35.3%で、合わせて『住み続けたい』が半数を切っています。
- 「どちらかと言うと住み続けたくない」は 35.3%、「住み続けたくない」は 12.7%で、合わせて『住み続けたくない』が『住み続けたい』と拮抗しています。

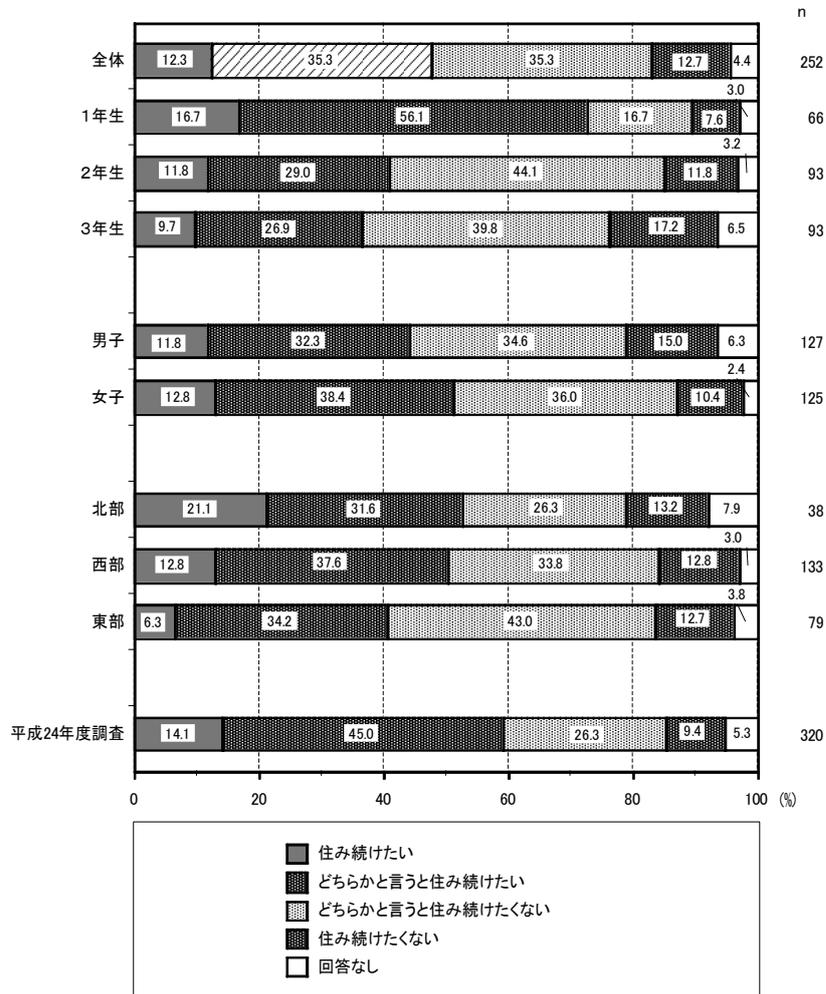
(2) 学年・男女・地区別

- 1年生では『住み続けたい』が 70%を超えていますが、2年生になると約 40%、3年生では約 37%と大きく落ち込んでいます。
- 女子では『住み続けたい』が半数強で、男子よりも高くなっています。
- 北部、西部、東部の順で『住み続けたい』が高くなっています。

(3) 前回比較

- 前は『住み続けたい』が 60%弱でしたが、今回は 10 ポイント以上低下しており、定住対策が大きな課題になっていくとうかがえます。問 4 でまちへの愛着が前回と比べて 5 ポイント程度低くなってきていることも、定住意向が低くなったことに関連すると思われる。

図表4-6 定住意向(学年・男女・地区別、前回比較)



第5章 近所のことやボランティアについて

1. 近隣とのつきあい程度

問 13 近所の人をどの程度知っていますか。【特にあてはまるものに○を1つ】

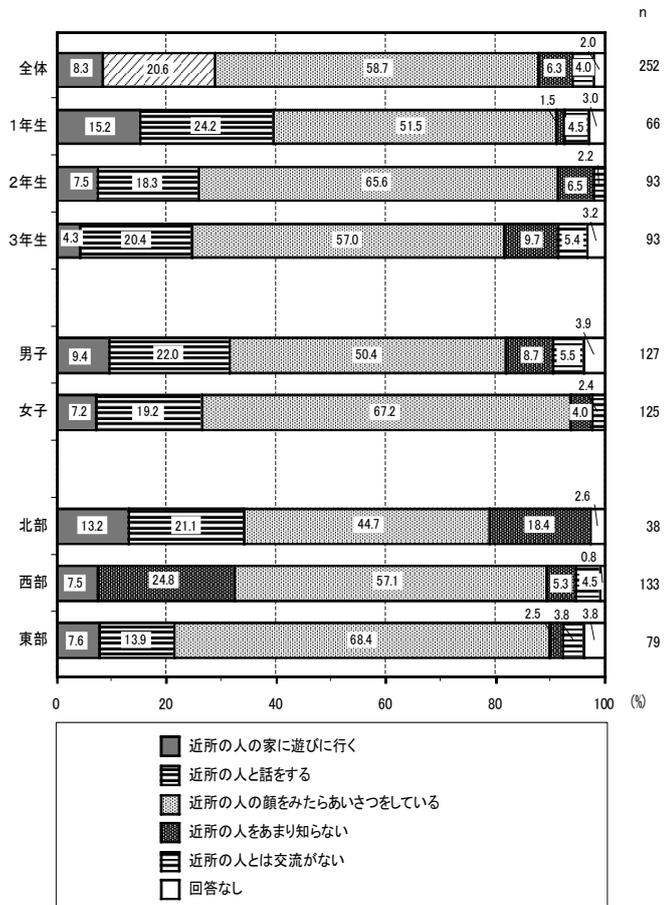
(1) 回答者全体

- 「近所の人のお家に遊びに行く」は8.3%にとどまり、「近所の人と話をする」は20.6%、「近所の人のお顔をみたらあいさつをしている」が58.7%と最も多くなっています。
- 「近所の人をあまり知らない」は6.3%、「近所の人との交流がない」が4.0%となっています。

(2) 学年・男女・地区別

- 学年が上がるにつれて、「近所の人のお家に遊びに行く」と「近所の人と話をする」が低くなっています。
- 女性では「近所の人のお顔をみたらあいさつをしている」が67.2%と高くなっています。
- 北部では「近所の人のお家に遊びに行く」、西部では「近所の人と話をする」、東部では「近所の人のお顔をみたらあいさつをしている」が、ほかの地区よりも高くなっています。

図表5-1 近所付き合いの程度(学年・男女・地区別)



2. ボランティア活動の経験

問 14 ボランティア活動に参加したことがあるか【あてはまるもの全てに○】

(1) 回答者全体

- 「学校を通じて参加したことがある」が 54.4%、「地域のボランティア活動に参加したことがある」が 42.9%と多く、「個人や家族でボランティアに参加したことがある」も 18.3%みられます。
- 「参加したことはない」は、14.7%みられます。

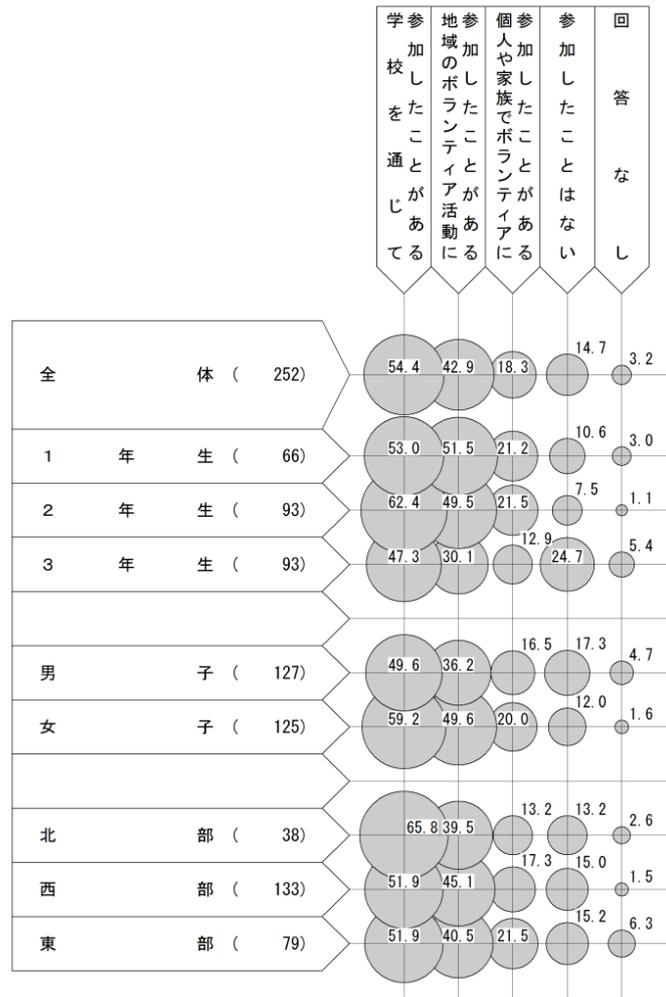
(2) 学年・男女・地区別

- 2年生で「学校を通じて参加したことがある」、「地域のボランティア活動に参加したことがある」、「個人や家族でボランティアに参加したことがある」が、ほかの学年より高くなっています。1年生でも「地域のボランティア活動に参加したことがある」が高く、3年生では「参加したことがない」がほかの学年より高くなっています。
- 女子で、「地域のボランティア活動に参加したことがある」が、男子よりも高くなっています。
- 北部では「学校を通じて参加したことがある」、東部では「地域のボランティア活動に参加したことがある」、「個人や家族でボランティアに参加したことがある」が、ほかの地区より高くなっています。

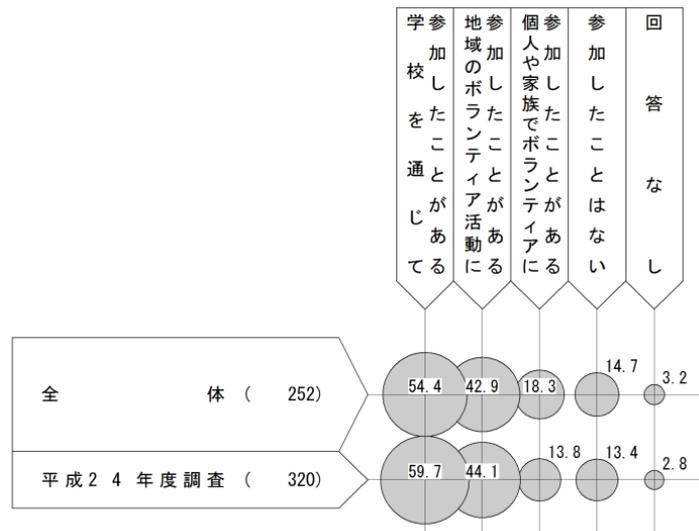
(3) 前回比較

- 前回よりも、「学校を通じて参加したことがある」が5ポイント以上低くなり、「個人や家族でボランティアに参加したことがある」が高くなっています。

図表5-2 ボランティア活動の経験(学年・男女・地区別)



図表5-3 ボランティア活動の経験(前回比較)



第6章 自由記入意見

川辺町のまちづくりのなかで、「こうしてほしい」、「こうしたらいいのに」ということがありましたら、自由に記入してください。

- 自由記入意見については、200人から320件寄せられました。
- 意見は、4. 快適に暮らすことができるまちづくり、5. 新たな活力をおこすまち、1. 美しく安らぎのあるまちづくりについて集まっています。
- 個別施策では商工業・サービス業振興、道路、環境共生の推進についての意見が多くなっています。

図表6-1 自由記入意見の意見数(第5次総合計画 基本施策別)

1. 美しく安らぎのあるまちづくり	67	4. 快適に暮らすことができるまちづくり	95
1 環境共生の推進	49	1 居住環境	3
2 循環型社会の形成	7	2 道路	62
3 防災・災害対策	4	3 公共交通	12
4 消防・救急	0	4 公園・緑地	18
5 防犯・交通安全	7	5 治水	0
6 消費生活・住民相談	0	6 上水道	0
2. 誰もが安心して暮らせるまちづくり	7	7 下水道	0
1 健康づくり	0	5. 新たな活力をおこすまちづくり	87
2 地域福祉の推進	2	1 農林業振興	0
3 子育て支援	2	2 商工業・サービス業振興	71
4 高齢者福祉	2	3 勤労者	0
5 障がい者福祉	1	4 観光・交流	16
6 医療	0	6. 共に考え行動するまちづくり	15
7 社会保障	0	1 協働の推進	0
3. みんなで学び合うまちづくり	37	2 地域コミュニティ	8
1 学校教育	7	3 プロモーションと広報広聴	7
2 青少年の育成	1	4 人権・男女共同参画・多文化共生	0
3 生涯学習・文化財保護	5	5 行政運営	0
4 スポーツ	24	6 財政運営	0
		7 定住自立圏・広域行政	0
		その他	12
		総数	320

図表6-2 自由記入意見の主な意見

1. 美しく安らぎのあるまちづくり	67
1 環境共生の推進	49
○飛騨川のゴミを無くすようにする。	
○川にゴミを捨てるのはやめてほしい。	
○ゴミ拾いを行って、自然を豊かにする。	
○ゴミを減らすため、週1回ゴミ拾いをすると良い。	
○ゴミのポイ捨てを減らすため、ポスターを貼ったりゴミ箱を置く。	
○ポイ捨てがあるので、ゴミ拾いをすると良い。	
2 循環型社会の形成	7
○クリーン活動や資源回収などの活動を増やしたほうが良い。	

○リサイクル活動などゴミを減らすようにする。	
3 防災・災害対策 ○地震時に危険なのでブロック塀を点検してほしい。 ○土砂災害の対策をしてほしい。	4
5 防犯・交通安全 ○不審者が多いと思うので、地域の人でパトロールをしてほしい。 ○スピード違反の車が多いので、標識をつけてほしい。 ○信号機がない場所がある。	7
2. 誰もが安心して暮らせるまちづくり	7
2 地域福祉の推進 ○福祉施設に行って、その人たちと交流を深めたい。	2
3 子育て支援 ○子どもを増やす。 ○人口が減っているなので、子育てを応援する施設などをつくってほしい。	2
4 高齢者福祉 ○高齢者の生活を支えてほしい。 ○高齢者や子どもが利用しやすい公共の場をつくる。	2
5 障がい者福祉 ○障害者の方々の施設が少ないと思うので、もっと増やす。	1
3. みんなで学び合うまちづくり	37
1 学校教育 ○学校が汚れているので、きれいにしてほしい。 ○部活動の時間を短くしてほしい。 ○野球部に金を使ってほしい。 ○中学校の部活にサッカーを入れてほしい。	7
2 青少年の育成 ○ボランティア活動を積極的にする。	1
3 生涯学習・文化財保護 ○図書館の蔵書を増やしてほしい。 ○歴史と文化を活かした町にする。	5
4 スポーツ ○スポーツなどで遊べる場所を増やしてほしい。 ○サッカーグラウンドを造ってほしい。 ○中学生、高校生が楽しめる場所が少ないので、ボーリングなど若者が楽しめる場所がほしい。 ○川辺町がボート王国というなら、もっと町の人にボートやカヌーを体験できる機会をつくるべきだと思う。 ○スポーツに力をいれてほしい。テニスコートは中学校にしかなく、コートもあまり良くないので、スポーツ施設をつくってほしい。 ○ボートだけではなく、いろいろな行事、活動を増やしてほしい。	24
4. 快適に暮らすことができるまちづくり	95
1 居住環境 ○下麻生には人が住んでいないボロボロの家があって、とてもこわい。 ○住みやすい町にしていきたい。	3
2 道路 ○危ない道路は整備してほしい。 ○危険な曲がり角にカーブミラーを付けてほしい。 ○デコボコした所が多いので、直してほしい。 ○川沿いに柵がないので危ない。 ○国道41号沿いの歩道を整備してほしい。	62

○歩道がガタガタなので、歩行者や自転車を通りやすくする。 ○細い道から大きな道に出る時、車が来るのが見えないので危ない。	
3 公共交通 ○中川辺駅は夏暑く冬寒いので、元の駅舎に戻してほしい。 ○定時運行するバス路線がほしい。 ○電車の本数を増やしてほしい。 ○福祉バスをもう少し細かく。 ○買い物や交通の便をよくする。	12
4 公園・緑地 ○公園を増やして子どもが楽しめるようにしてほしい。 ○空き地を有効活用してほしい。 ○遊ぶ場所が少ないので、公園などを増やしてほしい。	18
5. 新たな活力をおこすまちづくり	87
2 商工業・サービス業振興 ○買い物ができる場所を増やしてほしい。 ○若者が集まる店がほしい。 ○中川辺商店街をもっと元気に。 ○まちが賑やかになるようにお店を増やす。 ○本やDVDをレンタルできる店があると良い。 ○大きなお店があると良い。 ○スポーツ用品店がほしい。 ○遊べる施設を増やしてほしい。 ○コンビニを増やしてほしい。 ○川辺町は皆が楽しめるような場所が少ないと思うので、町の中央に施設をつくる。	71
4 観光・交流 ○自然が豊かなので、自然を活かしたイベントをやると良い。 ○ボートが有名な町なので、ボートを活かした遊びをつくる。 ○ボートをしに来た人のために宿泊センターをつくる。 ○飛騨川が活用できていない。泳ぐところをつくる。 ○よさこいをもっと町で盛り上げてほしい。	16
6. 共に考え行動するまちづくり	15
2 地域コミュニティ ○町をきれいにするため、地域ごとにゴミ拾いをしたら良い。 ○地域の人ともっと関わりあえるような活動が増えたらと思う。 ○各地区の公民館の掲示板を利用して、地域の人たち同士の情報交換をする。	8
3 プロモーションと広報広聴 ○川辺の花火大会を町外に広める。 ○今、行っている活動や行事を知らない人が多いので、もっとたくさんの人に伝えるようにしてほしい。 ○「ボート」「フルーツ大福」「しいたけ」しか思い浮かばないので、もっと身近に感じられるものがあると良い。 ○たくさんの人に川辺町に来てもらうため、ポスターやCMでPRすると良い。 ○名産品を開発し、インターネットを活用するなどして若者を呼び寄せてほしい。	7
その他 ○花火禁止の場所に禁止の看板を設置する。 ○冷暖房がある施設がほしい。 ○実用的な施設を増やしてほしい。	12

注) 意見のなかった分類項目等は省略しています。